

令和2年度第2回ひたちなか市環境審議会 書面協議結果

令和3年2月22日

委員名	承認	理由・意見等
原口 弥生	✓	市のCO2排出削減目標の明記賛成です。 昨年、台風19号の被害もありましたし、災害や適応計画の充実にも期待しています。
鈴木 康司	✓	なし
間瀬 憲多朗	✓	なし
黒澤 由子	✓	なし
猿田 寛	✓	①施策の体系図（ツリー図など）があればより分かりやすい。 ②気候変動適応計画については、今後の脱炭素系、気候変動の状況（国の施策含む）を勘案して、必要に応じ当面は各部署において、具体施策を検討すること。なお、当計画の見返しの段階で、独立した気候変動計画策定も検討すること。
岩城 和久	✓	なし
藤田 英雄	✓	なし
佐藤 和章	✓	なし
佐々木 博二	✓	なし
秋山 豊	✓	なし
柳生 修	✓	なし
中村 弘行	✓	なし
川又 武司	✓	なし
田所 淑子	✓	市の概況、気候変動に関する記述などが追加され、より分かりやすくなったと思います。 各章にある「市民が取り組むこと」について、マイバック持参、3Rの実践などについては、市民の中に大分浸透されたと感じていますが、まだ周知されていない項目があります。 そのような中、市報2月10日号に掲載された意見募集の記事は目立つところに掲載され、市がこのような計画を策定していることが広く周知されたと思います。 今後も、環境問題に関心を持たない方々へ意識向上を図るため、機会を作り広報に努めていただけたら、と思います。
高仲 和美	✓	なし
厚見 美江	✓	環境保全のための具体的な施策が体系的にまとめられ、市・市民・事業者がそれぞれなすべきことが分かりやすく提案されていると感じました。その中で、常日頃気になっていることです。 ●p10・10行目～ 最近高場地区では、農業従事者の減少と、都市計画により、農地が減少してしまいました。「農業を大切にしていない」と言う近隣の農家の方の声も耳にします。ぜひ、市として農業の振興に積極的に取り組んでいただきたいです。 ●p16・11行目～ 市民の緑化促進するとありますが、残念ながら近隣の木々がどんどん伐採され、屋敷林も姿を消しつつあります。また、新しい住宅では木を植えないところも少なくありません。市の主導でもっと緑地を増やし、緑多い都市づくりを推進してくださいようお願いします。 ●ひたちなか市の環境を良くする会との協働も引き続きよろしくお願ひいたします。

※敬称略、意見等は原文のまま記載しています。